

DESIGN

KAWARASAKI LAB.

IGUCHI SANA

OKUYAMA NOHANA

SASAKI MISATO

TOSAKA RISA KO

HASHIMOTO NAOHIDE

Mathematics Design

デザイン

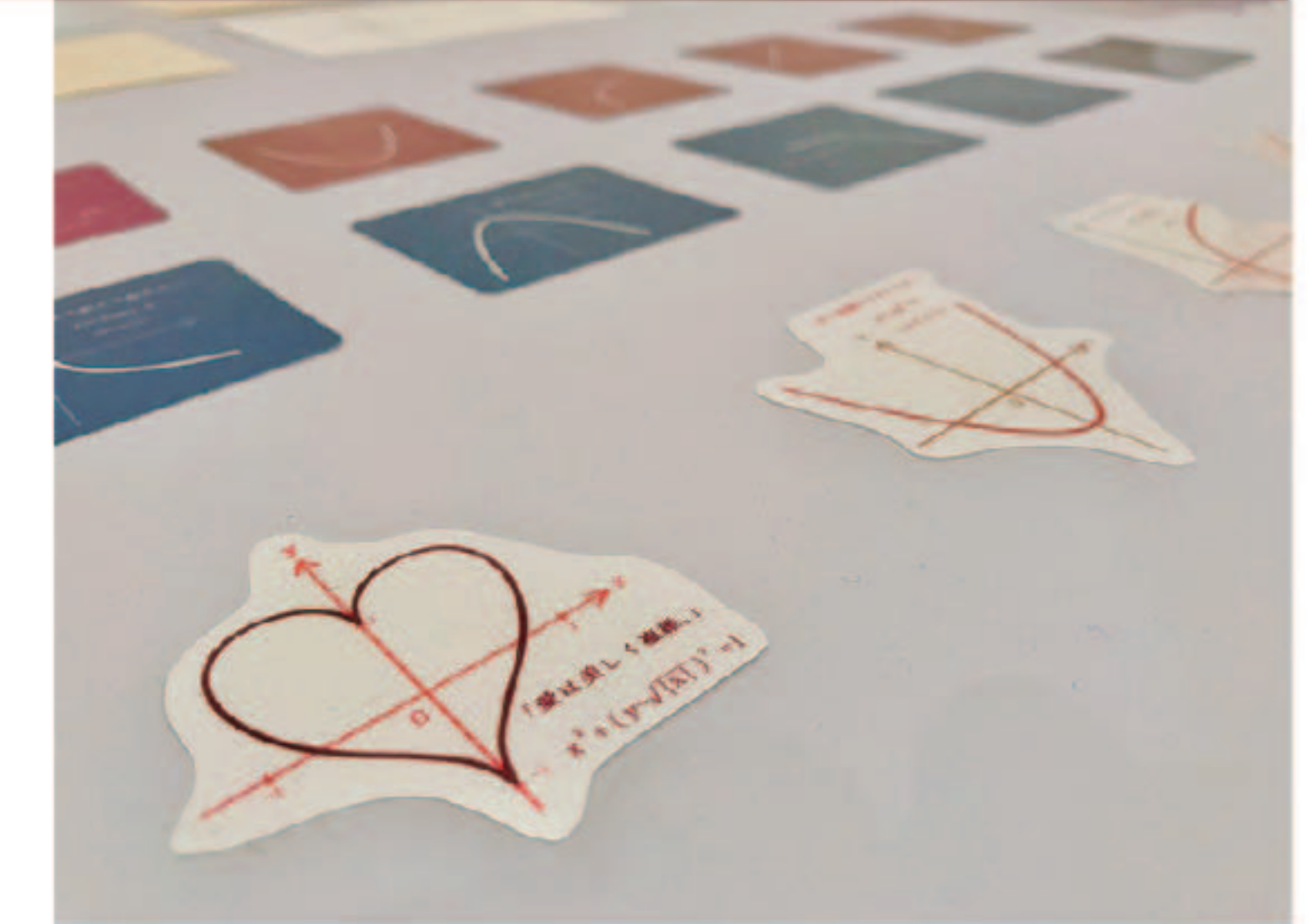


井口紗那
Iguchi Sana
地域創造学環

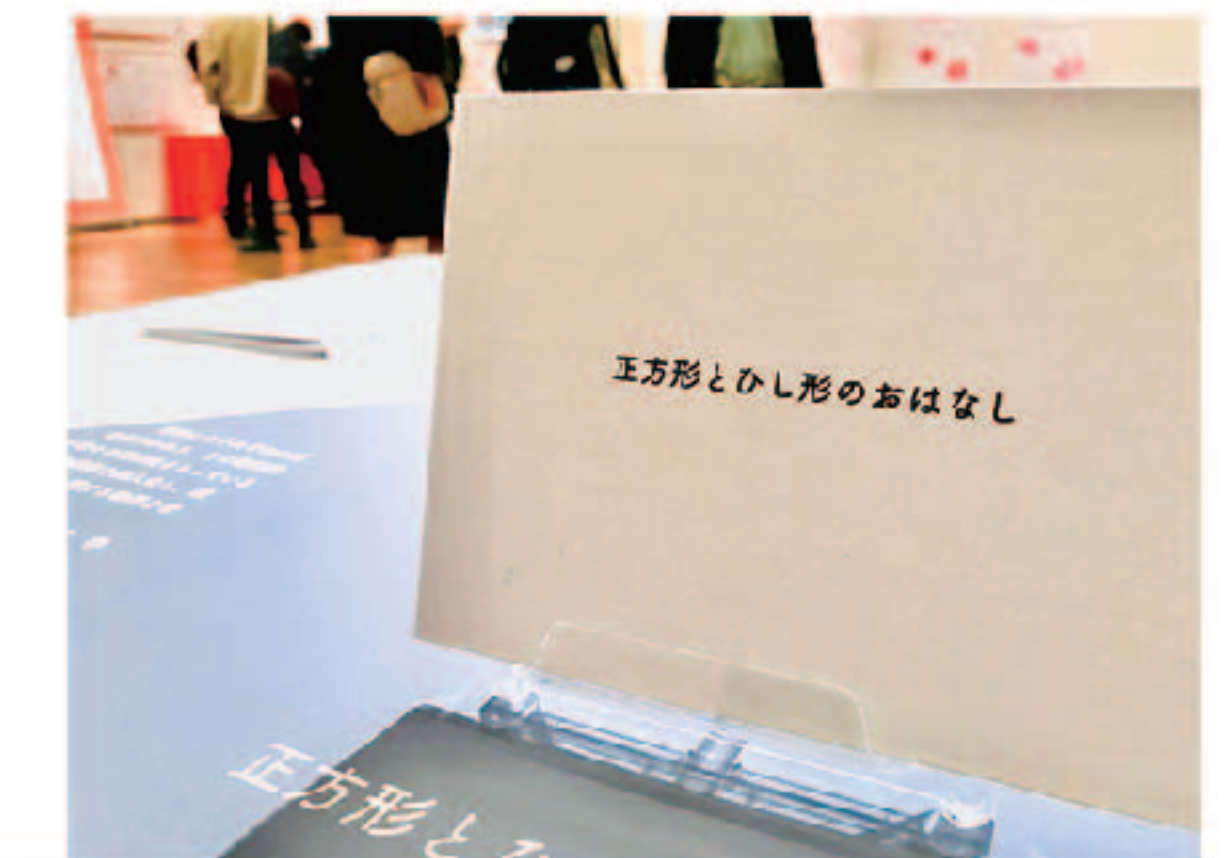
数学の原理原則を利用して、私たちの日常に、新たな視点からの豊かさを生み出すアイデアを提案しました。

日用品をはじめ、人々にとって日常生活の印象を変えるグラフィック作品なども制作しました。

もっと数学を身近感じ、新しい日常を。



数学の原理原則を利用した日常のデザイン



まちがえてあそぶ
ことばあそび
プロダクトデザイン



奥山 野花
Okuyama Nohana
教育学部

「まちがい」から「学び」に繋げる、ことばあそびの提案。
遊びで負けたり、間違ったりすることを通して新しい発見・視野・知識などを増やし、学ぶことを促すプロダクトをデザイン提案することが本研究の目標である。



オサトマーケットのブランディング

—地域密着型店舗の歴史を辿って—
ブランディング



佐々木 美里
Sasaki Misato
教育学部

「オサトマーケット」は今年で創業 110 年目を迎える私の実家のお店です。お店の歴史を調べたり、実際に「オサトマーケット」で職業体験をしながら、お店の「良さ」や「価値」について考えました。さらに、地元の方々に愛されるよう「オサトマーケット」のブランディングについて取り組みました。

オサトマーケット

デザイン成果物

00 職業体験

私はオサトマーケットで1週間ほど職業体験させていただきました。実際に働き出したサービス体験することで、コンビニや大型スーパーにはない、オサトマーケット独自の良さがあるということに気がきました。それぞれの皆さんのニーズに合わせて対応を覚えており、この地域に必要なお仕事をサービスとして提供していると感じました。コンビニや大型スーパーにはないような、地域に合わせたオサトマーケットならではのサービスがあるから、ここまですべてを続けられるのだと思います。

また、オサトマーケットに携わる歴史的な資料も多く発見しました。近くからお客さんや従業員さんに話をすることで、昔のオサトマーケットの様子をイメージすることができました。

オサトマーケットで体験したことを踏まえ、オサトマーケットのブランディングデザインを行いました。

02 ポスター



貴重な資料、大量に発見

歴史帖を作成する際に見つけた古い資料や写真に基づきオサトマーケットのポスターをデザインしました。資料に書かれた先人の言葉の意図を自分なりに解釈し、この意図をそのままキャッチコピーとしました。

03 メニュー



オサトマーケットの主力商品であるサンドイッチについて成分表を制作しました。全てのサンドイッチを手書き風イラストとして表現することで、かわいく見えるような魅力的なメニュー表を目指しました。お客様が選ぶことができるメニューがあることで、お客様に合わせたメニューを提供しています。

05 駄菓子サンド



01 歴史帖



オサトマーケットに携わる歴史的な資料やお客さんと従業員さんの話を基に作成した歴史帖、キャラクターのデザインや当時の写真を取り、八百七の誕生から現在までの出来事があります。歴史帖から 110 年経って来た歴史を先人から学ぶことができ、オサトマーケットの良さを再認識してもらい、また、高齢者のお客さんには話を聴く「話の種」となることを目的としています。

04 井戸端コップ



お客さんとの会話から...



パンは何??

創業 110 周年、まだまだ現役。

食へなくても分かる。食へたらもっと分かる。

創業 110 周年、まだまだ現役。

日本国憲法の インフォグラフィックス

グラフィックデザイン、プランニング



唐坂 梨紗子
Tosaka Risako
地域創造学環

日本国憲法をインフォグラフィックスというデザイン技法を用い、多くの人
が理解しやすい情報として可視化しま
した。



彩り日和

— 日常を彩るデザインの研究 —

グラフィックデザイン、プランニング



橋本 直英

Hashimoto Naohide

地域創造学環

私たちは日常生活を何気なく過ごしていることが多い。しかしながら、それらの日々により一日として同じ日はなく、どの日もかけがえのない貴重な一日ではないだろうか。そこで私は既存に定められている「記念日」の意味に焦点化することで、何気ない日々の生活を楽しく、充実したものに変えることを目的に本研究・制作を進めた。デザイン制作としては「記念日カレンダー」の提案と、特別な日を迎える人やその周りの人々が「より良い時間を経験するためのイベント・啓発活動・グッズ」の5つの提案を行った。

